

にツレサギソウが1本はつてあるが、原記載によく一致する花をもつ上方のミズチドリを後定基準標本にえらぶ。

*H. Keiskei* Miq. はヤマサギソウの異名と考えられていたが、基準標本をみるとそれはホソバキノチドリであつた。

また Miquel は *H. japonica* (ツレサギソウ) の下に多くの標本を引用し、3 新変種を記載した。var. *minor* Miquel というのは小形で葉と花を密につけたオオバノトンボソウとキノチドリ系のものとの混合であるが、前者を基準にえらび、その名を基にした *Platanthera minor* (Miq.) Reichb. f. をオオバノトンボソウの正名に用いる。var. *montana* Miq. はハンナガヤマサギソウである。また var. ? *micrantha* Miq. とした和紙にはさんだ標本は、伊藤圭介翁が集めた多くの標本を混ぜてはりつけたもので、少くともトンボソウ、ノヤマサギソウ、コバノトンボソウ(?) の混合である。

## □ 吉川純幹：日本スゲ属植物図譜 1

イネ科やカタリグサ科などの植物はその外形がみなよく似ているので、一つ一つの種類の特徴は文章では書き表わし難く、中でもスゲは日本に 200 種もある難物であるので図解書が最も必要とされ、それも一つだけでなく幾つかあることが望ましい。今回正宗敬教授の所の「北陸の植物の会」で吉川氏のこの労作が出版される様になつたのは大変よろこばしい。氏は以前からスゲに興味を持って豊富な材料を集めて居られたので、その中のよい個体から、よく特徴をとらえた美しい線でかき表わされている。第一巻は描きためられたものの一部、70 種——全種類の約三分の一に相当すると思われる——の図が収められており、スゲの勉強に良い参考書である上に、一般植物の同好家にとつてもその一枚一枚をながめるだけで非常にたのしい。引続いて残り全部のスゲの図が完成出版されることを期待してやまない。A5, 70 図版共 141 頁 発行所 金沢市金沢大学理学部植物学教室 北陸の植物の会 (代表 里見信生 振替金沢 904) 価格 550 円 (大井次三郎)。

J. YOSHIKAWA: *Icones of Japanese Carex*, Vol. 1, 141 pp. incl. 70 pls. (1957). Publ. by Hokuriku-no-Shokubutsu-no-Kai, Botanical Institute, Faculty of Science, Kanazawa University, Kanazawa.